

放課後等デイサービス アットすまいる御所西 事業所(職員)向け 放課後等デイサービス自己評価表集計結果

実施期間 令和5年12月20日～1月20日(配布 15 名 回収 12 名 回収率 80 %)

区分	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	意見	改善目標・工夫している点など
環境制・整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	6	5	1	指導訓練室スペースが狭い。／もう少しスペースが必要だと感じることもあるため。／子どもがクールダウンできるスペース確保が難しく、「もう少し利用児童が少なかったら…」と思う時があります。	活動内容、人数の分散などを引き続き検討していきます。
	2 職員の配置数は適切であるか	9	3	0	曜日やメンバーによって、スタッフの過不足の差が激しいと思います。／要望として、男性スタッフの増員。	
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	10	2	0	バリアフリー化は適切であるが、その他の設備が欠けている。／室内はバリアフリーだが、ビル入口に段差がある。	バリアフリーについては行政と協議の上、事業所開設申請をしているため、玄関間口寸法、トイレ内での車いす旋回など、要件はクリアしています。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	9	0	0	常時ミーティングを行い、業務改善を取り計らっている。	
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	9	1	0	速やかに話し合い、出来る限りの改善策を報告している。	
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	9	0	0		
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	6	1	0	改善出来る様努力している。 ※不明・未回答多数	第三者による評価は現在行っておりません。より一層質の高い事業所にしていくためにも、今後検討していきます。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	12	0	0	研修を欠席した職員にも内容の共有がされている。	月に一回程度、全事業所合同でのミーティング・研修を行い、「特性理解」「虐待防止」「防災」「感染症」「事故防止」などについて全職員で学ぶ機会を設けています。
	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	10	0	0		
	10 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	12	0	0		
	11 活動プログラムの立案をチームで行っているか	8	2	0	プログラムによって様々。	
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	11	1	0		
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	10	2	0	状況に応じて「きめ細やか」な支援をしている余裕は正直あまりないかな、という気がします。	

適切な支援の提供	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	11	0	0		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	11	1	0	毎日行われている。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	5	4	1	帰着時間や退勤時間バラバラなので、全員では出来ていない。気付いた点は社員に報告する形をとっている。	送迎の帰着時間が異なるため、全員での振り返りは難しいですが、個別での引継ぎや書面で翌日以降へ引継ぎを行っています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	11	1	0	気になる子以外の記録はあまりとっていません。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	9	0	0		定期的なモニタリングを行い、計画を作成しています。事前にパート職員も含む複数名へ聞き取りを行い、計画作成後は担当者会議を設けて計画の承認を得ています。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	10	1	0		
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	9	0	0		
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	11	0	0		
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	4	3	1	医療的ケアが必要な児童がいない為。 ※不明・未回答多数(該当なし含む)	現在、医療的ケア児等の受け入れは行っておりません。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	8	1	0	全員ではないが、保護者を通じて園での療育計画等を共有していただいている。	必要に応じて、利用開始前に書面や電話での引継ぎを行ったり、保育園等での様子を見せていただいています。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	8	0	0	※不明・未回答多数	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	8	1	0		いくつかの相談支援事業所とは、電話や書面にて様子を共有し、「児童支援利用計画」もいただいています。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1	3	7		現在は実施していませんが、保護者様からは「必要性があるだろうか?」という回答が大多数であるため、今後の実施についても憂慮しています。ただ、インクルーシブ社会の実現のために必要不可欠だと理解しています。

	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	5	2	0	※不明・未回答多数	京都市中部障害者地域自立支援協議会の研修・サロン等へ参加しています。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	11	1	0		
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	5	3	0	コロナ前はあったが現在は行っていない。	コロナ以前は保護者会をペアレントトレーニングの機会としておりましたが、現在山内康彦先生の個別相談会がその役割となっています。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	9	1	0	面接時に説明している。／見学时・契約時に説明している。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	7	2	0	その都度対応している。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	2	3	3		
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	10	1	0		
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	12	0	0		毎月中旬頃に、翌月のプログラム表と保護者様宛のお便り『すまいる便』をお渡ししているほか、随時お便りやLINEにて情報をお伝えしています。
	35	個人情報に十分注意しているか	11	1	0	社外秘の実行。	
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	12	0	0		
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	3	2	3			
非常時等	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	11	0	0		保護者様へは契約時にご説明しています。職員へは入社時研修で伝えるとともに、事務所内にマニュアルを設置し、いつでも見られるようにしています。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	11	0	0		規定回数以上の訓練を実施しています。様々な状況を想定し、予告なしでの実施や、別の出入り口からの脱出など、訓練が形骸化されないように工夫しています。年に一回、全事業所の職員を対象に防災に関する研修を行っています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	12	0	0		事業所単位での虐待防止対策委員会と、法人単位での虐待防止委員会を毎月実施しています。虐待防止に関する研修も毎年4回以上実施し、虐待の防止と啓発を行っています。

の 対 応	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	12	0	0		
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	8	3	0	アレルギーのある児童には、保護者と連携している。 ／重度アレルギーの児童はおらず、医師の指示書ではなく保護者からの指示に従っている。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	12	0	0		事業所ごとにヒヤリハット報告書を作成し、随時共有しています。一年に一度、法人全体での事例共有と対策の検討も行い、事故防止に努めています。